

寺報

龍正寺

ひなた 170号



龍正寺本堂前にて

<令和4年7月>

宝龍会
護持会

住職一言 (寿量品16)

169号の続き寿量品です。

衆生去きて大火に焼かると見る時も、我が此の土は安穩にして、天人常に充滿せり、園林諸の堂閣、種々の宝をもって莊嚴し、宝樹花果多くして、衆生の遊樂する所なり、諸天天鼓を撃つて常に諸の伎樂を作し、曼陀羅華を雨らして、仏及び衆に散ず。我が浄土はやぶれざるに、而も衆は焼け尽きて憂怖諸の苦惱、是の如き悉く充滿せりと見る是の諸の罪の衆生は、悪業の因縁を以て阿僧祇劫を過ぐれば、も三宝の名を聞かず、諸の有ゆる功德を修し、柔和質直なる者は、即ち皆我が身に在つて法を説くと見る。或時は此の衆の為に、仏壽無量なりと説く、久しくあつて乃し仏を見たてまつる者には、為に仏には値ひ難しと説く。』(解説)

成劫住劫をへて、えいこうにうつれば、万物ごとごとく、これは、はてる時代に入るれば、住劫を去つて、世界一面に火がたつて、すべてのものが焼きつくされようとする時でも、仏の世界は安穩であつて、天上界の者も人間界の者もみなあつまつて、樂しんでいる。どうして花園もあれば、美しい樹木もあれば、いろいろの建物もあつて、これは宝をもつてかざつてある。その世の中の人々は、樂しい日送りをして、いる。天上界の者は、天の鼓をうっている。いろいろな音楽を奏し、美しい白蓮の花を天からふらせ、仏および大勢の人間の上に散らるといふような世界が存在するものである。これはすなわち心の

多くなつた者の世界をいうのである 一切の迷が無くなつて人のため
世のためにつくことを自分の誓ひとする世の中は想像以上に無
限の樂があるのである 仏の世界は感謝にみちみちているに 仏の教を信
じる世界というものは 焼けつきている いろな苦しいこと 辛いこと
が いっぱいにあるのである 折角仏になるべき 仏性をもちながら 煩惱
にとらわれて あさましい生活をしている 無意義の生活をしている人間は
いつまで経っても 仏法僧の三寶の名を聞かず、 仏の教を世の中にひろめ
る人の 貴さを知らないで あつたのである 教を求めて もるもの 功徳をあげ
め 我執の念がなくなつた 柔和にして 己をあがみおかず 人を欺かず ほん
とうの正しい心もちで生きてゆく 質直な者 ほんとうの正しい心もちで生
きてゆく 質直な者 ほんとうの道をもちめていく 者があれば 仏はいつ
でも世にいて 教を説いて いるということが わかるのである

どういふ殊勝な心もちで 教を求め る者もあるから こういう者のために
仏の生命は かけがえない 生命である ということを説くのである 空
場に 仏を見ろ という ようになれぬ者には 仏に あつて 仏の教を
悉く ということ は 容易に できぬ ほど しっかり せぬ ならぬ ぞと
いつて は げます のである。

つづきは 171号で おたのしみ下さい。 読みつらいと
思いますが、 ゆっくりと 読んで下さい。

「もっと もっと
ありがとうを…」

今年も雨もそんなに降らぬ内に
つゆ明けとなりました!!

似前はカミナリが大きな音で鳴り
かひき大雨が降ったりでした!!

カミナリが鳴ったからつゆ明けもそろそろ
だろとの話してでしたが…

似前の頃とはすべてが移り変ってゆく
さまざまなこ柄に年を重ねてきました私共
には少し恐怖も覚えます

でも日々神・仏さまご先祖さまの守護の
おかげを有りがたく思います

大難は小難 小難は無難 無難はふじの日々を
とご守りの尊さが勿体なく存じます

暑さの中 帽子をかぶり外出……ふじと夕方
家へ帰りました!!

夕方息子夫妻が務まりふじいに帰ってきてくれ
ました ちたしくのいまりのよろこびでござります

孫とふじいと一口務めさせていただけたことと

思ってみます 次男家族とふじいの1日をきくと

過ごさせていただけたことと思ひます

褒らぬふじいの日常全流がこの上もなくの
よろこびでござります

今朝と尊の朝に尊の命のご守護かただけ

ました 家族一人一人の名前を申し上げまして

お題目を唱えます 今のよろこびを申し上げ

ます いちごと思ひめぐり涙にむせびます

目に見えずの内面の命に感謝をしてゆく

江を唯仏と仏… 仏さんと仏さんにしか

わからぬ尊のことだぞです 法ヶ経の本が学

びました 宗で下サリてありかとうにござりますと

申します!!

もっともっと…ありがとうと申してゆかねばの
ように思っています

呼吸がスースーとスムーズにできることなど

細胞が調音口をして働いていてくれる

尊さ: もっともっとありがとうの感謝を

申さねばと存じます

- ありがとうはまかりを…人生をゆたかにする
- ありがとうは自身を幸せにする心がゆたかになる
- ありがとうは生活による心の花が咲く
- ありがとうは身体の不調がよくなってゆく
- ありがとうの中に笑顔が生まれる
- それは宇宙のほほえみ……

すべての事柄にありがとうを もっともっと
申してゆきましょう

白頃のだらけているこの身。この心はお事の
月参り 13日、18日には身が引き締ります

身の読経、
身のお加持
身の法話

}より心がととのいます

お正人さまのじよりの読経が心に届き
ます 有り難い縁なですとよろこびます
わが家の朝、夕の読経の折にも大きな
声で元氣よく大事なお題目を唱えます

法々經を信じて その教えに従ひ

実践を行っていけば、それはすぐれた仏の道

無上仏道ができることと、法々經のじよりに

学びました やっぱり有りかたい法々經の学び

と思います 暑年中どうぞ皆様ご自愛

下さるせ ありがとうございます 南無妙法蓮華經

— 素敵な時間 —

毎日暑いですがね。熱中症には充分注意しましょう！
私の主人は5月半ばで20年以上勤務させていたのに会社を退職し、個人で「お仕事」を始めました。

大まかに言えば、体のコンディションを整えるのですが、先日、70歳台前後のお客様15名程と、転倒や寝たきり予防のための体操や、椅子から立つ際の体の使い方等の教室を開かせていただきました。

人工関節を入られている方や床に座るのが辛い方、膝や腰に痛みのある方など色々なお客様に触れさせて頂くことができて、お手伝いとして参加した私も、とても有難く、「感謝」の2文字しか出てこない時間を過ごさせていただきました。

腰に痛みのある方から「楽になったよ」と言ってもらえたり、足首の固かったお客様には、「こういう動きをすれば」緩んで「楽になるのね。ありがとう」と声を掛けていただきました。とても嬉しかったです。

その中でも、その空間にいる方が1つになつた瞬間がありました。

1人ずつ椅子に座って立つという動きだけなので
すが、1人では立つ事の難しい方がお二人みえました。
不思議なことに、そのお二人が、一番前に座られ、
他の皆さんが後ろから見える状態となつたのです。

体の使い方を何度も丁寧にお話し、少しずつ
自分の力だけで立てるようになつていきました。

最後には、少しの時間をかけるだけで立つ事が
でき、後ろから見守る方が「立てるようになつたじゃ
ん!!」と近付いて声を掛けたり、自然に拍手が
湧き、皆が笑顔になつていきました。

個人でお仕事をさせていたいただくのは本当に大変な
事だと思ひます。でも、自分で選んだ道…。自分
の持っている知識や技術を一人でも多くの方に伝え、
体験し、喜んでいただけるお仕事だという事に
自信を持って、向上心を忘れず頑張つていきたいと
思ひます。

< 7月行事予定 >

7月10日(日) 13:30~ 宗祖日蓮大聖人報恩会
盂蘭盆施餓鬼大法要
大古久尊天祈願会

※ 年中予定表より時間が変更となっています

7月18日(月) 10:00~ 鬼子母尊神) 祈禱会
七面大明神)

< 7月住職の予定 >

寺院 = 法務

< 7月の予定 >

7月1日(金)	各々の時間で"	清掃. 準備
↓	↓	↓
8日(金)		
9日(土)	9:00~	飾り付け
10日(日)	法要後	片付け. 準備
↓	各々の時間で"	清掃. 準備
17日(日)	↓	↓

♥ 10月9日の御会式会に向けてお万燈作りが始まりました。
皆様と一緒に心のこもったお万燈を奉納させていただきます。
まじょう!!